

知らないほど、近くおもう。



# グッドバイ

福田麻由子

小林麻子 池上幸平 井桁弘恵 佐倉星 彩衣 吉家章人

監督・脚本・編集 宮崎彩

撮影・森持治 照明・佐藤仁 録音・堀口浩 洗片所 助監督・杉山千栄 吉田大樹 制作・栗原乃、長井運彦 美術・田中麻子 ヘアメイク・ほんだなお 衣裳・橋本麻未 フードコーディネート・山田祥子  
スチール・持田真 監修・中島浩一 グラフィックデザイナー・高木創 音楽・杉本雅一 配給宣伝・ムービー・アクト・プロジェクト 2020年/6月9/16:9/5.1ch ©Aya MIYAZAKI goodbye-film.com @Goodbye\_film



ありふれた日々を訪れる、  
小さな世界の綻び——。

第15回  
大阪アジア映画祭  
インディ・フォーラム部門 正式出品

第21回  
TAMA NEW WAVE  
ある視点部門 正式出品

新鋭・宮崎彩監督 × 主演・福田麻由子 (『スカーレット』『蒲田前奏曲』)

父を知らない娘。同じ家に住む母。離れて暮らす父。  
家族の変容と決別をほろ苦く描く、新鋭監督の鮮烈なデビュー作。

Story

郊外の住宅地、その一角にある上埜家。  
さくら(福田麻由子)は母親(小林麻子)と二人で暮らしている。仕事を辞めたさくらは、友人の頼みから保育園で一時的に働くことに。そこで園児の保護者である、新藤(池上幸平)と出会う。やがて彼に、幼い頃から離れて暮らす父の姿を重ねるようになるさくら。  
ある晩、新藤家で夕飯を作るようになった彼女は、かつての父親に関する“ある記憶”を思い出す。一方、古くなった家を手離すことに決めた母。桜舞う春、久しぶりに父が帰ってくる——。

娘の視線を通じて家族のゆらぎを切り取った本作は第15回大阪アジア映画祭に正式出品され、その精緻な表現に高い評価を受けた。

主人公のさくらに「女王の教室」「白夜行」などで子役として非凡な才能を発揮し、近年ではNHK連続テレビ小説『スカーレット』、映画『蒲田前奏曲』などで深みを増した演技を見せる福田麻由子。

少女から女性に変わりゆく役柄を繊細に演じ切った。

さくらの母を小林麻子、園児の父親・新藤を池上幸平、保育園の同僚役に「仮面ライダーゼロワン」で活躍する井桁弘恵、離れて暮らす父を『シン・ゴジラ』などの吉家章人ら実力派キャストが演じ、それぞれの役柄に血を通わせた。

監督・脚本は是枝裕和監督の元で映像制作を学び、本作が初長編監督作となる新鋭・宮崎彩。日常の機微を積み重ねた丁寧な演出で、ゆっくりと、しかし確実に変わりゆく家族の姿を優しく、せつなさを込めて浮き彫りにした。

[www.goodbye-film.com](http://www.goodbye-film.com)



グッドバイ 4月3日(土)よりロードショー

特別鑑賞券 1400円(税込) 劇場窓口ほか発売中

ユーロスペース  
EUROSPACE

渋谷区円山町1-5 KINHAUS 3F TEL.03-3461-0211